

連載第21回 横浜市会議員 たけのうち猛 市民とともに

横浜市会 第1回定例会 議会報告②

予算特別委員会での論戦より

3月6日、8日
の委員会において、政策局総務局関係の事業についての質問を行いました。以下、抜粋してご報告します。

◆政策局関係
◆旧富岡倉庫地区の跡地利用

急激に高齢化、人口減少が続いている金沢区の課題解決へ、若い世帯の流入を促す取組みを積極的に仕掛けていかねばならないと考えます。そこで、戦後60年間で、接収され平成21年に国に返還された同地について、隣接する公務員住宅跡地とセットで、マンションなどの住宅地としての活用を提案しました。

◆旧富岡倉庫地区の跡地利用

◆政策局関係
◆旧富岡倉庫地区の跡地利用

急激に高齢化、人口減少が続いている金沢区の課題解決へ、若い世帯の流入を促す取組みを積極的に仕掛けていかねばならないと考えます。そこで、戦後60年間で、接収され平成21年に国に返還された同地について、隣接する公務員住宅跡地とセットで、マンションなどの住宅地としての活用を提案しました。

◆旧富岡倉庫地区の跡地利用

急激に高齢化、人口減少が続いている金沢区の課題解決へ、若い世帯の流入を促す取組みを積極的に仕掛けていかねばならないと考えます。そこで、戦後60年間で、接収され平成21年に国に返還された同地について、隣接する公務員住宅跡地とセットで、マンションなどの住宅地としての活用を提案しました。

急激に高齢化、人口減少が続いている金沢区の課題解決へ、若い世帯の流入を促す取組みを積極的に仕掛けていかねばならないと考えます。そこで、戦後60年間で、接収され平成21年に国に返還された同地について、隣接する公務員住宅跡地とセットで、マンションなどの住宅地としての活用を提案しました。



横浜市議員
たけのうち猛
＜ご連絡先＞
公明党金沢支部事務所：
金沢区富岡西 3-38-1-101
TEL：080-9804-9782
FAX：045-345-4345
✉ info@takenouchi-takeshi.com
http://www.takenouchi-takeshi.com/

◆総務局関係

◆総務局関係
◆感震ブレイカー設置促進

横濱市が全国に先駆けて、平成25年度から行ってきた感震ブレイカーの設置補助事業の普及啓発と、さらなる促進策について質問。対象となる木造住宅密集地域の自治会・町内会からの申請にあたり、これまで構成員の

◆感震ブレイカー設置促進

◆感震ブレイカー設置促進

横濱市が全国に先駆けて、平成25年度から行ってきた感震ブレイカーの設置補助事業の普及啓発と、さらなる促進策について質問。対象となる木造住宅密集地域の自治会・町内会からの申請にあたり、これまで構成員の

◆感震ブレイカー設置促進

横濱市が全国に先駆けて、平成25年度から行ってきた感震ブレイカーの設置補助事業の普及啓発と、さらなる促進策について質問。対象となる木造住宅密集地域の自治会・町内会からの申請にあたり、これまで構成員の

◆感震ブレイカー設置促進

横濱市が全国に先駆けて、平成25年度から行ってきた感震ブレイカーの設置補助事業の普及啓発と、さらなる促進策について質問。対象となる木造住宅密集地域の自治会・町内会からの申請にあたり、これまで構成員の

◆感震ブレイカー設置促進

横濱市が全国に先駆けて、平成25年度から行ってきた感震ブレイカーの設置補助事業の普及啓発と、さらなる促進策について質問。対象となる木造住宅密集地域の自治会・町内会からの申請にあたり、これまで構成員の

8割の同意が必要としていた条件を、29年度から5割に緩和するところが示されました。対象全34万世帯への無償配布を検討するなど、取組の加速を要望しました。

◆災害対策備蓄食料

◆災害対策備蓄食料

特に、賞味期限切れの近いものの活用方法について確認。ここ数年横濱市では備蓄食料の廃棄は行っており、多くは被災地への支援や地域防災拠点の訓練で配布するなどして活用、残りについては、家畜のエサや肥料にするなどの資源化を行っています。資源化にかかるコストの圧縮と、更なる有効活用の工夫を要望しました。

◆災害対策備蓄食料

特に、賞味期限切れの近いものの活用方法について確認。ここ数年横濱市では備蓄食料の廃棄は行っており、多くは被災地への支援や地域防災拠点の訓練で配布するなどして活用、残りについては、家畜のエサや肥料にするなどの資源化を行っています。資源化にかかるコストの圧縮と、更なる有効活用の工夫を要望しました。

◆災害対策備蓄食料

特に、賞味期限切れの近いものの活用方法について確認。ここ数年横濱市では備蓄食料の廃棄は行っており、多くは被災地への支援や地域防災拠点の訓練で配布するなどして活用、残りについては、家畜のエサや肥料にするなどの資源化を行っています。資源化にかかるコストの圧縮と、更なる有効活用の工夫を要望しました。

◆災害対策備蓄食料

特に、賞味期限切れの近いものの活用方法について確認。ここ数年横濱市では備蓄食料の廃棄は行っており、多くは被災地への支援や地域防災拠点の訓練で配布するなどして活用、残りについては、家畜のエサや肥料にするなどの資源化を行っています。資源化にかかるコストの圧縮と、更なる有効活用の工夫を要望しました。